

令和7年度 第2回 三郷市図書館及び視聴覚ライブラリー協議会会議録							
開催期日	令和8年1月29日(木) 10時00分						
閉会の日時	令和8年1月29日(木) 11時30分						
開催場所	三郷市役所7階 大会議室						
出席状況	委員 10名中 6名 事務局 10名 傍聴 1名						
主な議題	(報告事項)令和7年度事業報告について						
	(報告事項)令和8年度事業計画(案)について						
	(報告事項)「第2次日本一の読書のまち三郷推進計画」進捗状況について						
	(報告事項)「第3次日本一の読書のまち三郷推進計画」の策定について						
席次番号	委員氏名	摘要	席次番号	委員氏名	摘要		
1	土倉知子	出・欠	11		出・欠		
2	中川進	出・欠	12		出・欠		
3	武藤彩花	出・欠	13		出・欠		
4	今友美	出・欠	14		出・欠		
5	古賀智子	出・欠	15		出・欠		
6	田口啓子	出・欠	16		出・欠		
7	山上礼子	出・欠	17		出・欠		
8	横井直美	出・欠	18		出・欠		
9	福田誠治	出・欠	19		出・欠		
10	土屋かおり	出・欠	20		出・欠		
事務局出席者名							
教育長	檜垣 幸久	生涯学習部 部長	横田 隆宏	日本一の読書の まち推進課長	茂木 光司	日本一の読書のま ち推進課企画推 進係長	染谷 将隆
日本一の読書のま ち推進課企画推進 係専門員	並木 さくら	市立図書館長	染谷 篤仁	早稲田図書館長	三國 博子	北部図書館長	園田 久美子
生涯学習課生涯 学習係長	佐藤 有起	北部図書館 主査	千葉 利衣				
会議の概要または特記事項							

審議の概要

会議名	令和7年度第2回三郷市図書館及び視聴覚ライブラリー協議会
	開会 司会・進行 園田北部図書館長 1. 会長あいさつ 福田会長 2. 教育長あいさつ 檜垣教育長
福田会長	3. 議事（議事進行：福田会長）
事務局	《議題1》令和7年度事業報告について ・各館事業、3館合同事業、企画推進系の事業の説明、図書館の施設別利用状況、電子図書館統計について、視聴覚ライブラリーの現状について (令和7年度図書館事業報告・利用統計資料1、資料2、資料3、資料5参照)
福田会長	事業をよくされていると思う。猛暑で利用が少なくなったというのであれば、都内だと参加し体験できる室内イベントとセットにするという傾向がある。冷房のある大部屋に人を集めると良いのだろう。 KADOKAWA との取り組みはとても良いと思うが、相手からの依頼か。
事務局	その通り。あちらも読書と絡めて何かPRできないかと探す中で、日本一の読書のまちを見つけていただいたのかと思う。
福田会長	普段から周知していると、インフルエンサーとしての役割を期待され相互で良いことがおこる。繋がりもできて良いと思う。 市の規模に対し事業や設備がかなり充実している。
事務局	図書館が3施設あることは強みと感じる。これからも積極的にアプローチしていきたい。
事務局	《議題2》令和8年度事業計画（案）について ・図書館関係 ・企画推進係関係 (資料4参照)
横井委員	子ども司書事業は始めて15年になる。その後のR&Lには高校生しか入れないものか。年齢制限はあるか。
事務局	特に制限はない。現在も大学生が何名かいる。
横井委員	小学校の読み聞かせボランティアをしているが、人手が足りない。もしよければ、R&Lの活動の場として学校での読み聞かせなども視野に入れてくれたらと思う。
福田会長	工夫が必要。高校生がいる中に（大学生などの大人が）入っていくと高校生がやりにくいだろう。裏方としてバックアップをしたり、高校に投げしてみたりするのも卒業生としてのつながりとなって良いのではないか。 みさと絵本サーキットの記載にあるコーヒーショップは、本を読めるようなところなのか。

事務局	会場であるにおどりプラザ内に店舗がある。におどり公園の中に、におどりプラザがある。
福田会長	こういった施設や、何かしながら読書できる場所が JR 沿線で増えると良い取組ができそうだ。
土屋委員	ふれあいブックワゴンについて、図書館に来館することが難しい方へのアプローチを考えているようだが、具体的に考えはあるか。
事務局	高齢者向け施設への訪問時にブックトークのような読書講座を行っている。懐かしの作家や新しい知識の実用書などを紹介している。また、普段から通っている施設の手に取れる場所に、団体貸出した資料を置いておくことで、気軽に本に触れられるようにしている。 《議題3》第2次日本一の読書のまち三郷推進計画進捗状況について (資料6参照)
横井委員	学校での貸出が増えたとのこと、やはり新和小や幸房小で学校司書の活動時間が増えたからではないかと思う。この取り組みは他の学校にも拡げていただきたい。
福田会長	司書がいることでこんなに良くなったということをもっとアピールすると良いのかもしれない。
横井委員	実際に、司書が毎日いることで、子どもたちが図書館に足を運ぶ姿をよく見るようになった。良いことだと思う。
古賀委員	講談社「本」とあそぼう全国訪問おはなし隊について、昨年度に引き続き特別支援学校が訪問先の一つとなった。前回は踏まえ、こちらも環境を整えることができ、子どもたちが集中して聞くことができ好評だった。
福田会長	資料を見ても事業を見ても本当にたくさんの良い取組をしている。起業などをし、地域に還元してくれる人材が出てきてくれると事業にストーリーができ、可能性が広がるだろう。 《議題4》第3次日本一の読書のまち三郷推進計画策定について (資料7参照)
福田会長	写真が多くなるのは見やすく、イメージもわかりやすくなって良い。少し画像が暗いような気もする。
事務局	写真の明るさを印刷会社と調整してみる。
福田会長	写真にはあまり写っていないが、働き盛りの方はいらっしやらないのだろうか。欧米だと広場、市庁舎、教会があり、それらが中心となって作る仕事とは別の地域コミュニティがある。日本では生きるため、助け合うための地域という考え方である。地域コミュニティと交流を持つという意識が薄いと読書イベントに参加させるのは難しいかもしれないが、何でもやってみると良い。

	<p>《議題5》その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別整理期間について
田口委員	蔵書を点検するとのことだが、例年、年間どれくらいの図書が紛失しているのか。
事務局	施設により違いはあるが、全体的な数字としては1%以下である。
田口委員	あわせて聞きたい。ふれあいブックサポーターとして活動しているが、図書の整理をしていて、期限もなく、自由な運用なので、きちんと返却されているのか不安がある。本の管理が大変ではないかと思うが、紛失は多いのか。
事務局	ふれあい文庫は、本が好きな人や、これから手に取ってみたい方へのPRとして行っている。うっかり返し忘れてたり、手元に置きたいと思われたりする人もいるかもしれないが、そういった方がふとした時に次の本を寄贈してくださることを期待している。貸出方法についてはご意見をいただいているので検討していきたい。
山上委員	ふれあい文庫の本に貼られたシールに、各地の場所は書いてあるのだろうか。
事務局	ふれあい文庫の本であるというシールであるため、場所の記載はない。本を返す時は借りたふれあい文庫の場所でなくて構わないが、ルールをご存じない方もいらっしゃるので周知に努めたい。
横井委員	読書計画に三郷の民話について記載があるが、読み聞かせでも民話を活用している。その際に三郷の方言について、読み手側も理解が難しい。三郷の方言自体を知らないこどももいるので、そういった資料の紹介をしていただきたい。
福田会長	地元の言葉を知ろうとしたときに、すぐ調べて知ることができるというのは良い。ご検討いただければと思う。
福田会長	閉会（閉会の辞：福田会長）